

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 4日

事業所名 ひだまりのおうち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			動ける空間が狭い時があるので、日々に応じた環境整備をする
	2	職員の配置数は適切である	5	3	Nsの負担が大きい。出来る事はスタッフ以外が手伝うようにしている	事務作業が出来る事務員の補充が望ましい一偏りがないように仕事の分担を行う。時間によってはスタッフを必要人数以上増やす。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			出勤しているスタッフで話し合うだけでなく、全スタッフの意見を聞ける場の確保
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9		運営会議の活用	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		SNSや掲示板の活用	今後も積極的に研修に参加する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			定期的なアセスメント様式の見直し
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		アセスメントツールの見直し
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		保育士だけに限らず、他職種全員で立案を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	日々でスタッフの出勤退勤時間が違うため、全員での振り返りは難しいが、後日共有するようにしている。	今後も継続して、全スタッフが情報共有していく。毎日振り返りが出来る時間の確保
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			次の日の検証になったりするが、なるべくその日に検証し次につなげていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	9				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		お迎え時や担当者会議にて話している	今後も継続して行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9		主治医意見書あり	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1	連絡帳の活用。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3		現在卒業生はいないので、今後の子どものために全スタッフにて情報収集を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	研修等への参加	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8	交流する機会がない。他事業所の開催する行事への参加。	地域の行事や行楽等の機会の活用。今後も他事業所の行事への参加や、共同で行事を開催したりしたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	6	医療的ケア児コーディネーター等の研修への参加から情報収集を行う	地域の行事や行楽等の機会の活用。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	1		全保護者には行っていない(お母様だけなど)お父様ともお話しできる機会を作る必要がある	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8	父母の会がない為、保護者同士の話し合う機会がない。一部は出来ている	感染等を考慮し、なかなか開催に踏み込めていない。保護者同士どうしたいかを聞き、今後開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	facebookの活用・月一回、または年一回の会報を作成するのが望ましい	個人的に活動内容を連絡できるツール活用の検討
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	招待は出来ていないが、SNSを通じて開かれた状態は作っている。ハロウィン仮装行列の商店街回り・お散歩などで地域の方と交流している	感染等を考慮し不特定の方が集合することは難しいが、こちらから数人ずつ出向くことは継続してやっていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		いつでも見られるところに設置	緊急時などは保護者の方にも伝えているが、改訂後等にも目を通してもらう必要がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		月1回行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		研修等に参加し、全スタッフへの報告を行う	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		医師の指示書あり。変更あれば速やかに内容変更の指示書の依頼を行う	今後も引き続き行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		全スタッフを緊急で招集し話し合いの場を作ることもある	事業所内での共有一他事業所への報告も行う